

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

98人が「福岡市のことが好き」で

97人が「福岡市は住みやすい」と感じ

93人が「福岡市にずっと住み続けたい」と願い

81人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市が好きで、住みやすさを実感し、
この先もずっと住み続けたいと願い、
誰かの役に立ちたいと思っている。

福岡市は、「人と人のつながりを感じながら、
安心して住み続けたい都市」です。

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。今回も、18歳以上の数値を用いて比較しており、20歳以上を対象としてきた平成28年度までとは対象が異なることに留意する必要がある。

「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」とも、例年肯定派が9割を超える高水準で推移しており、今年度も同様の結果となっていると同時に、いずれの評価も前年度から上昇している。

(特記)

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本意識調査の実施時期が、例年より1ヶ月ほど遅れており、市民の回答にもその影響が及んだ可能性がある。

このため、分析にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により市民の行動や意識が変化した可能性も考慮した上で、必要に応じて考察を加えるものとする。

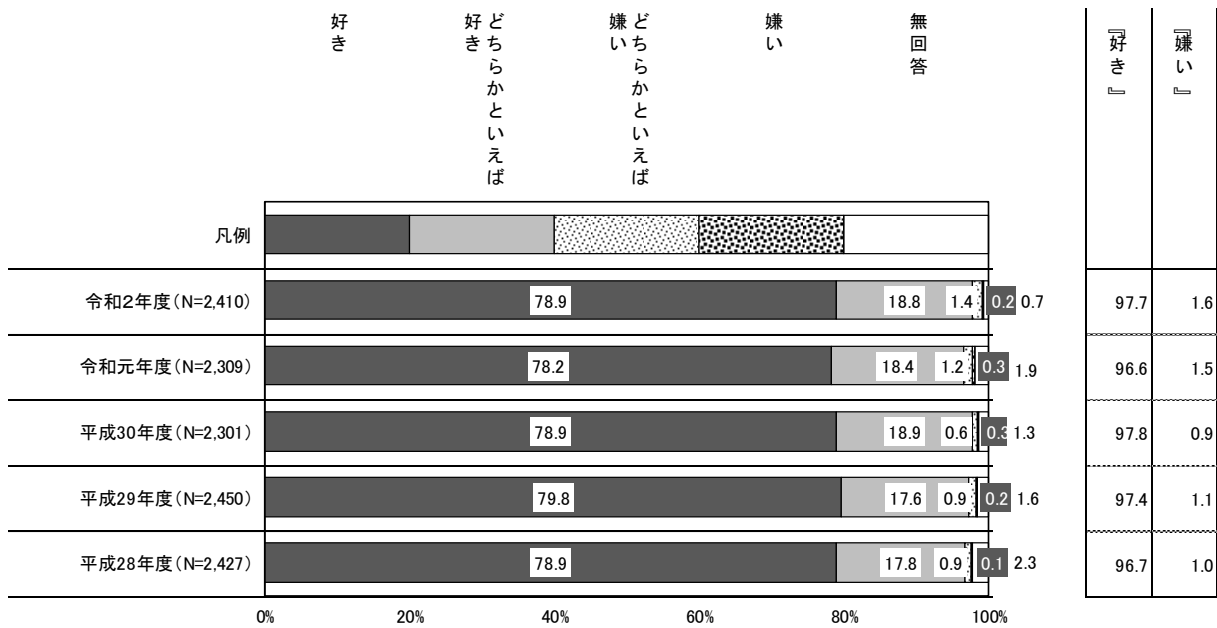
(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」「福岡市にずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

「福岡市が好き」については、肯定派（「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が97.7%と高い水準となった。

過去の調査から一貫して高い水準を維持しており、直近5年間では2番目に高い水準となっている。

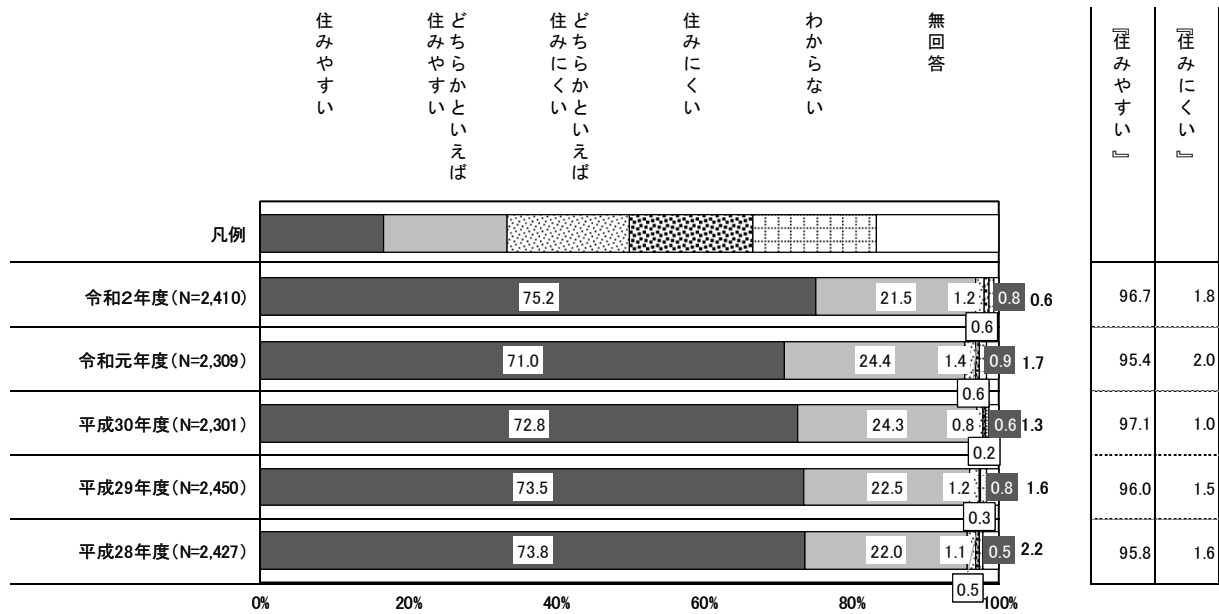
図表 福岡市が好きか【過去の調査との比較】



※平成29年度～令和2年度は18歳以上、平成28年度は20歳以上の回答

「福岡市は住みやすい」についても、100%近い人が肯定派（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）となっており、高い水準を維持してきた中で、特に「住みやすい」の積極的肯定が75.2%と、前年度から4ポイント以上上昇し、過去最高値となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【過去の調査との比較】

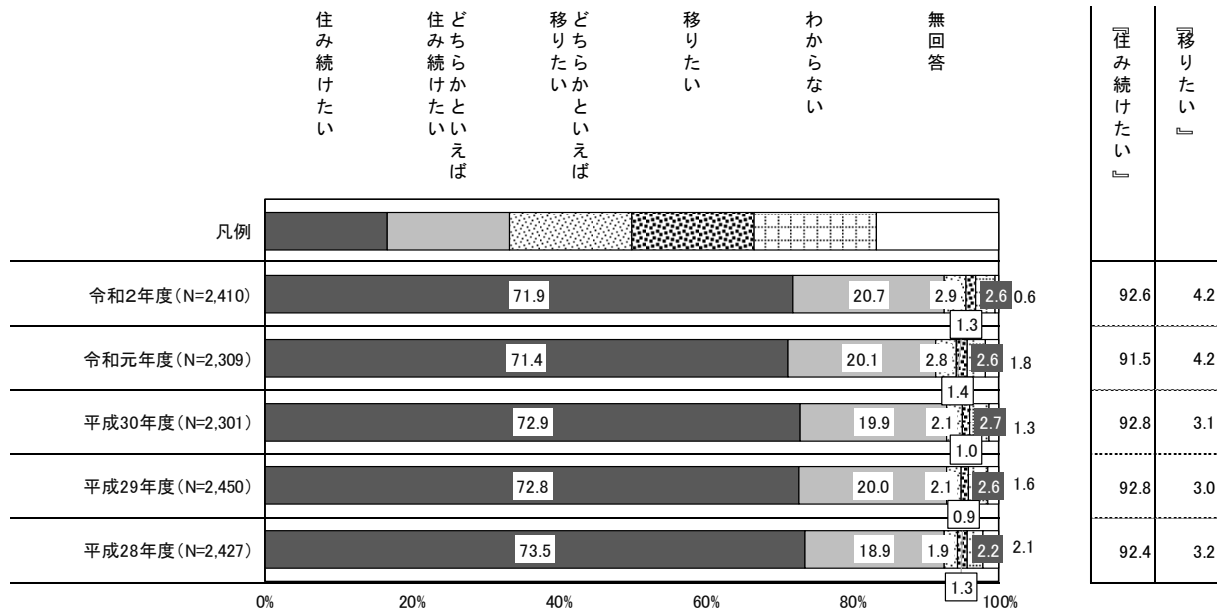


※平成29年度～令和2年度は18歳以上、平成28年度は20歳以上の回答

「福岡市にずっと住みたい」も同様に、肯定派（「住みたい」＋「どちらかといえば住みたい」の計）が92.6%と、一貫して9割を超える高い水準で推移している。

「住みたい」の積極的な評価が、前年度までわずかな低下が見られたが、今年度は改善している。

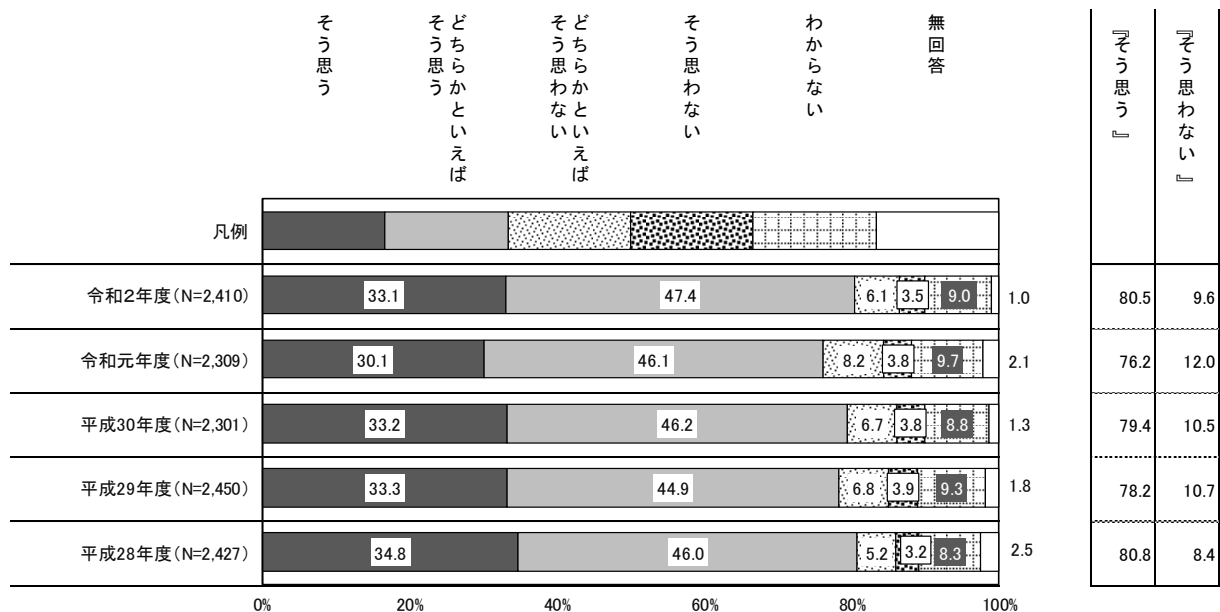
図表 福岡市にずっと住みたいと思うか【過去の調査との比較】



※平成29年度～令和2年度は18歳以上，平成28年度は20歳以上の回答

「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が約8割（80.5%）となっており、前年度から4ポイント以上上昇している。前年度に「そう思う」の積極的な評価が低下したものが、前々年度水準まで回復し、肯定派全体でも、平成28年度と同様の高い水準となっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか
【過去の調査との比較】



※平成29年度～令和2年度は18歳以上、平成28年度は20歳以上の回答

以上のように、4指標は、例年同様の高い水準で推移しており、全体的に前年度から肯定派の増加が目立ち、「福岡市は住みやすい」や「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」での積極的肯定派の低下傾向も改善が見られた。

(2) 福岡市の都市環境等の満足度

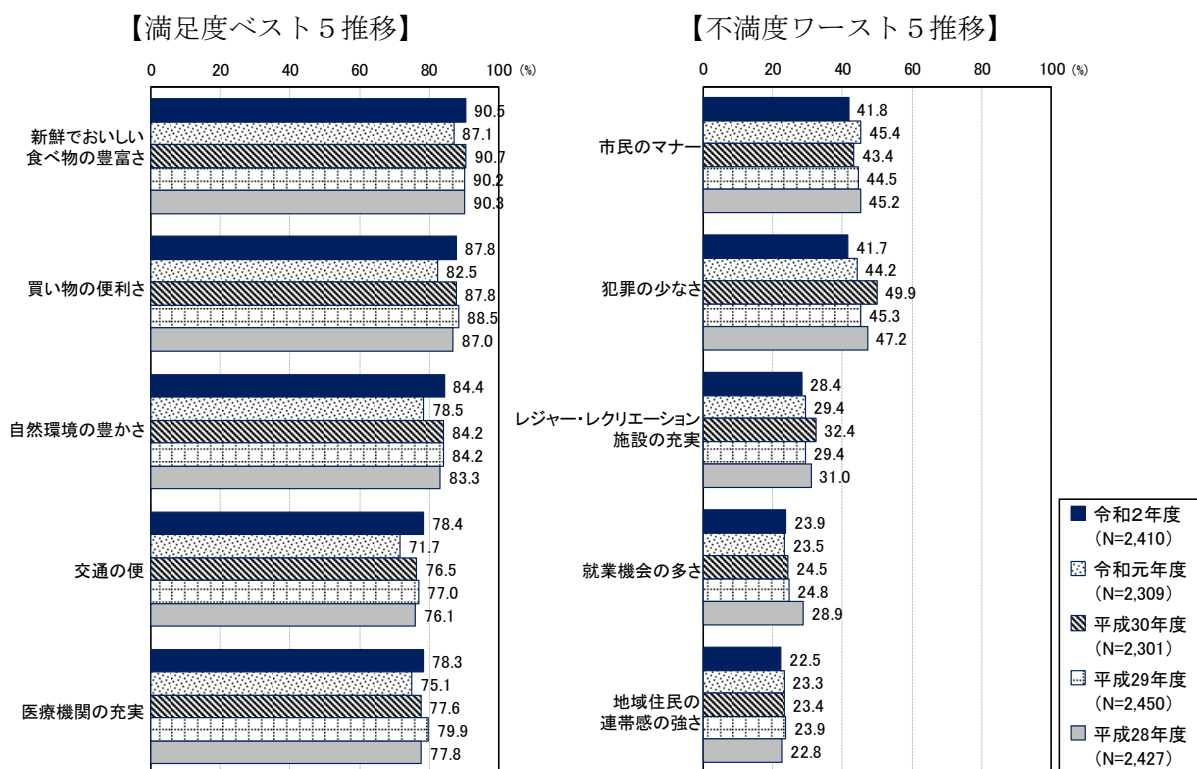
福岡市の都市環境等について、満足度及び不満度の特徴と経年推移について述べる。

満足度（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）については、80%を超えた「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」「自然環境の豊かさ」、70%台の「交通の便」「医療機関の充実」が、上位の5項目である。ベスト5全ての項目で、前年度から数値が上昇しており、特に、「買い物の便利さ」「自然環境の豊かさ」「交通の便」は、5ポイント以上上昇している。

不満度（「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）が高いものは、「市民のマナー」「犯罪の少なさ」「レジャー・レクリエーション施設の充実」「就業機会の多さ」「地域住民の連帯感の強さ」で、「地域住民の連帯感の強さ」以外はほぼ前年度と同様の結果である。不満度の数値自体は、ワースト5以外の項目を含め、ほとんどの項目で前年度から改善（低下）している。特に上位2項目である「市民のマナー」「犯罪の少なさ」は、前年度比3ポイント前後改善（低下）となっている。

また、「自然環境の豊かさ」「住宅事情」「交通の便」「物価の安さ」「教育環境」「子育てのしやすさ」「福祉の充実」「犯罪の少なさ」「市民のマナー」は満足度が平成21年度からの調査以来、過去最高を記録した。さらに、「住宅事情」「交通の便」「教育環境」「子育てのしやすさ」「医療機関の充実」「福祉の充実」「地域住民の連帯感の強さ」「犯罪の少なさ」「市民のマナー」「レジャー・レクリエーション施設の充実」については不満度が過去最低を記録した。全体として、満足度の上位項目はさらに満足度を伸ばして福岡市の長所がさらに上昇し、不満度の下位項目は前年度から不満度が減少し、短所の改善が進んだ結果となった。

図表 都市環境等についての満足度推移



※平成29年度～令和2年度は18歳以上、平成28年度は20歳以上の回答

(3) 「福岡市の都市環境等の満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、低ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市が好き」において、令和2（2020）年度、最も相関係数が高いのは「人の親切や人情味」で、0.357の正の相関を示している。平成27（2015）年度から一貫して、最も強い相関を示しており、「人の親切や人情味」項目の満足度が上がると「福岡市が好き」指標の向上が期待できる可能性が高い。このほか、「住宅事情」や「地域住民の連帯感の強さ」も0.300を超えており、「福岡市が好き」指標の向上と密接に関係している。

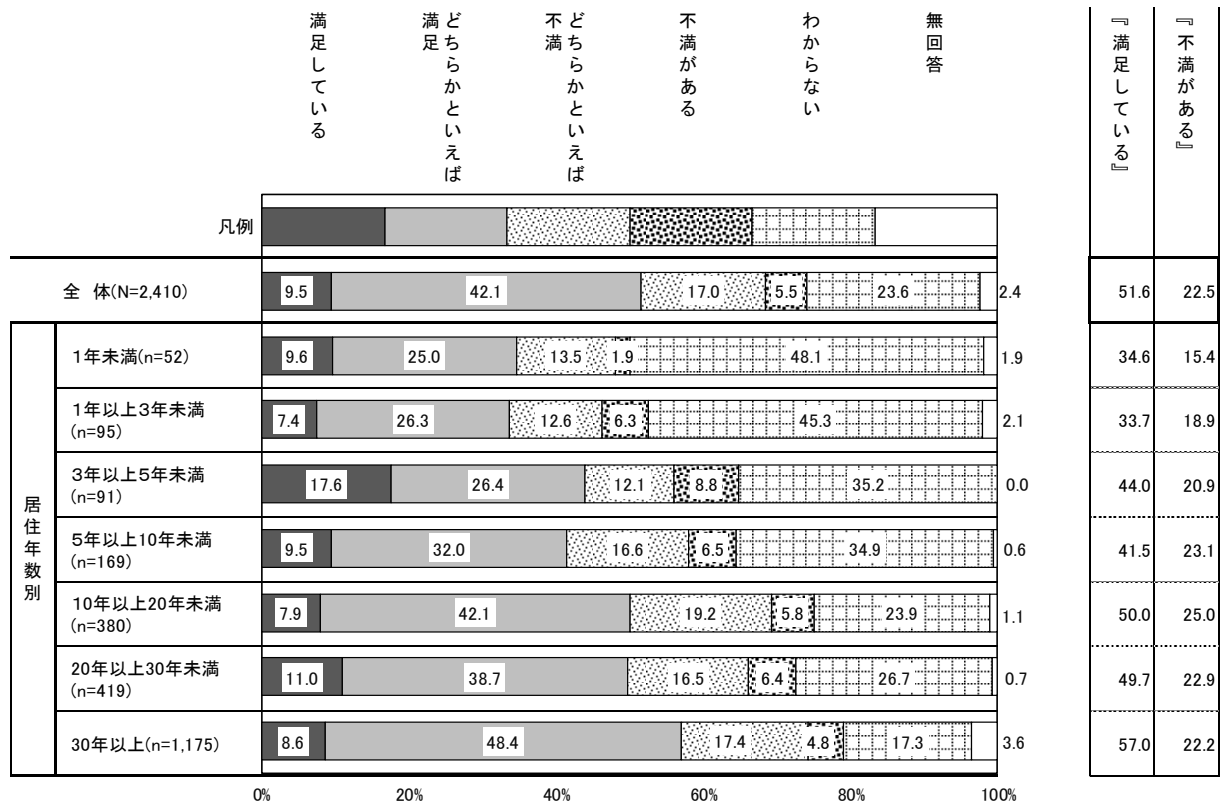
図表 『好き』と「都市環境等の満足度」の相関係数と都市環境等の満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和2年度	平成27年度	令和2年度	平成27年度
人の親切や人情味	0.357	0.329	76.0	75.7
住宅事情	0.308	0.248	76.5	73.5
地域住民の連帯感の強さ	0.303	0.234	51.6	51.1
自然環境の豊かさ	0.296	0.235	84.4	80.8
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.291	0.237	90.5	88.0
市民のマナー	0.266	0.201	47.7	41.2
子育てのしやすさ	0.265	0.221	54.6	48.5
福祉の充実	0.249	0.171	53.0	43.4
教育環境	0.247	0.233	61.3	55.3
物価の安さ	0.241	0.226	72.0	64.3
犯罪の少なさ	0.226	0.140	41.0	34.4
交通の便	0.218	0.221	78.4	74.9
医療機関の充実	0.215	0.191	78.3	75.8
芸術・文化水準	0.214	0.208	65.3	62.6
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.212	0.187	54.3	52.3
就業機会の多さ	0.211	0.232	48.8	40.8
買い物の便利さ	0.199	0.238	87.8	87.0
自然災害の少なさ	0.153	0.104	71.7	82.2

「地域住民の連帯感の強さ」は不満度でワースト5であるが、居住年数が短い人の評価は「わからない」と回答している人が多いことから、長く住み続けることで、地域との連帯感が強まり、つながりを感じることで、安心して好きなまちとして見えるようになると考えられる。

平成27年度調査は「人の親切や人情味」の相関係数が0.329と高く、唯一0.300を超える項目だが、本年度の調査では、「住宅事情」や「地域住民の連帯感の強さ」など、より多様な項目が「福岡市が好き」に影響するように変化している。

図表「都市環境等の満足度：地域住民の連帯感の強さ」【居住年数別】



「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市は住みやすい」の相関係数においては、「住宅事情」「子育てのしやすさ」が1位、2位の項目となった。このほか、「人の親切や人情味」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「教育環境」「地域住民の連帯感の強さ」も0.300以上で、上位項目には生活環境に関する項目と、人とのつながり、安心感に関する項目が多い結果となった。

多様な人が住む福岡市では、住みやすさの感じ方も異なるが、立場や属性が異なる人が、それぞれつながりを感じることで、安心感が生まれ、「住みやすい」という評価につながり、「住みやすい」ことが「住み続けたい」へとつながる。

福岡市は、「子育てのしやすさ」や「教育環境」などの生活環境の充実度が、住みやすさと密接に関わっている。このような子育てしやすい環境が充実していることは、単身者にとっても、将来自身が家族を持つことをイメージする上で、福岡市に住み続けたいと思うきっかけとなり、定着を促す効果も期待される。

さまざまな人が満足感を得る魅力と、多様な人のつながりが、市民全体の住みやすさの高評価に結びついているといえる。

図表 『住みやすい』と「都市環境等の満足度」の相関係数と都市環境等の満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和2年度	平成27年度	令和2年度	平成27年度
住宅事情	0.357	0.296	76.5	73.5
子育てのしやすさ	0.350	0.270	54.6	48.5
人の親切や人情味	0.339	0.332	76.0	75.7
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.318	0.244	90.5	88.0
教育環境	0.305	0.257	61.3	55.3
地域住民の連帯感の強さ	0.300	0.251	51.6	51.1
自然環境の豊かさ	0.296	0.235	84.4	80.8
物価の安さ	0.277	0.246	72.0	64.3
交通の便	0.268	0.296	78.4	74.9
買い物の便利さ	0.259	0.287	87.8	87.0
福祉の充実	0.254	0.200	53.0	43.4
芸術・文化水準	0.240	0.202	65.3	62.6
市民のマナー	0.235	0.222	47.7	41.2
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.224	0.221	54.3	52.3
就業機会の多さ	0.219	0.237	48.8	40.8
医療機関の充実	0.213	0.226	78.3	75.8
犯罪の少なさ	0.203	0.180	41.0	34.4
自然災害の少なさ	0.150	0.112	71.7	82.2

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

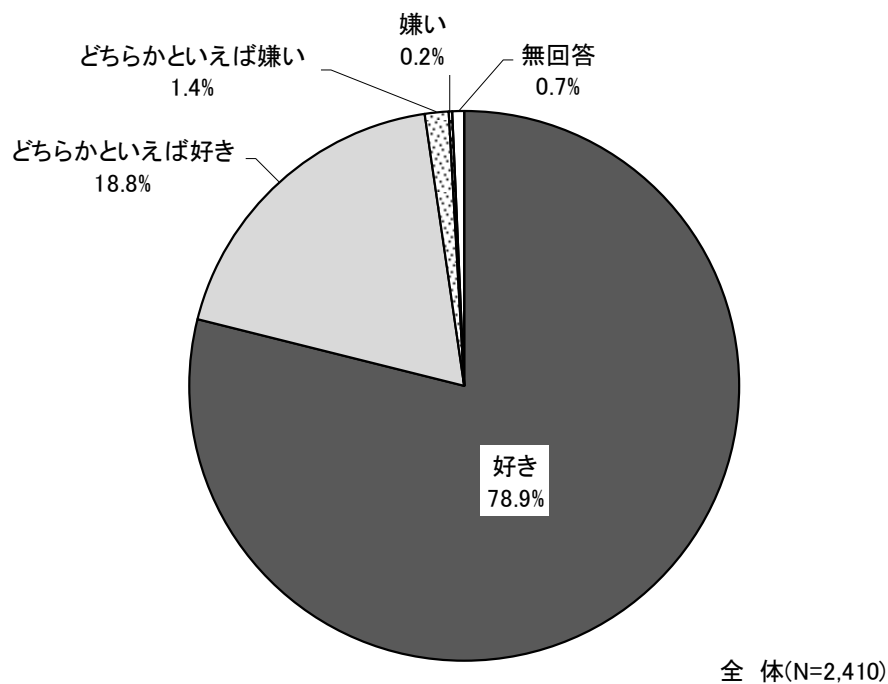
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が78.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(18.8%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は97.7%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は1.6%となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

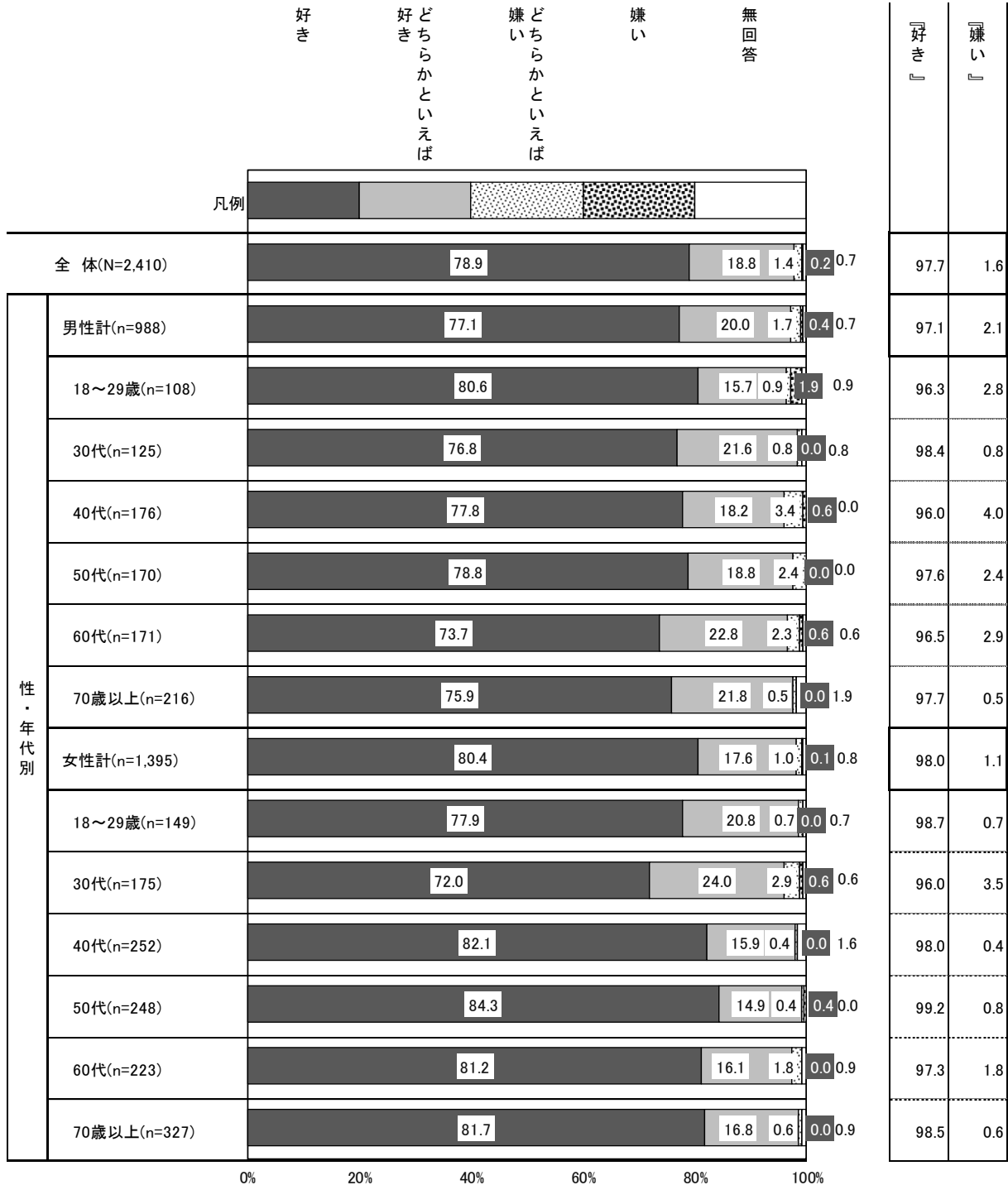


『好き』	97.7%
『嫌い』	1.6%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えている。

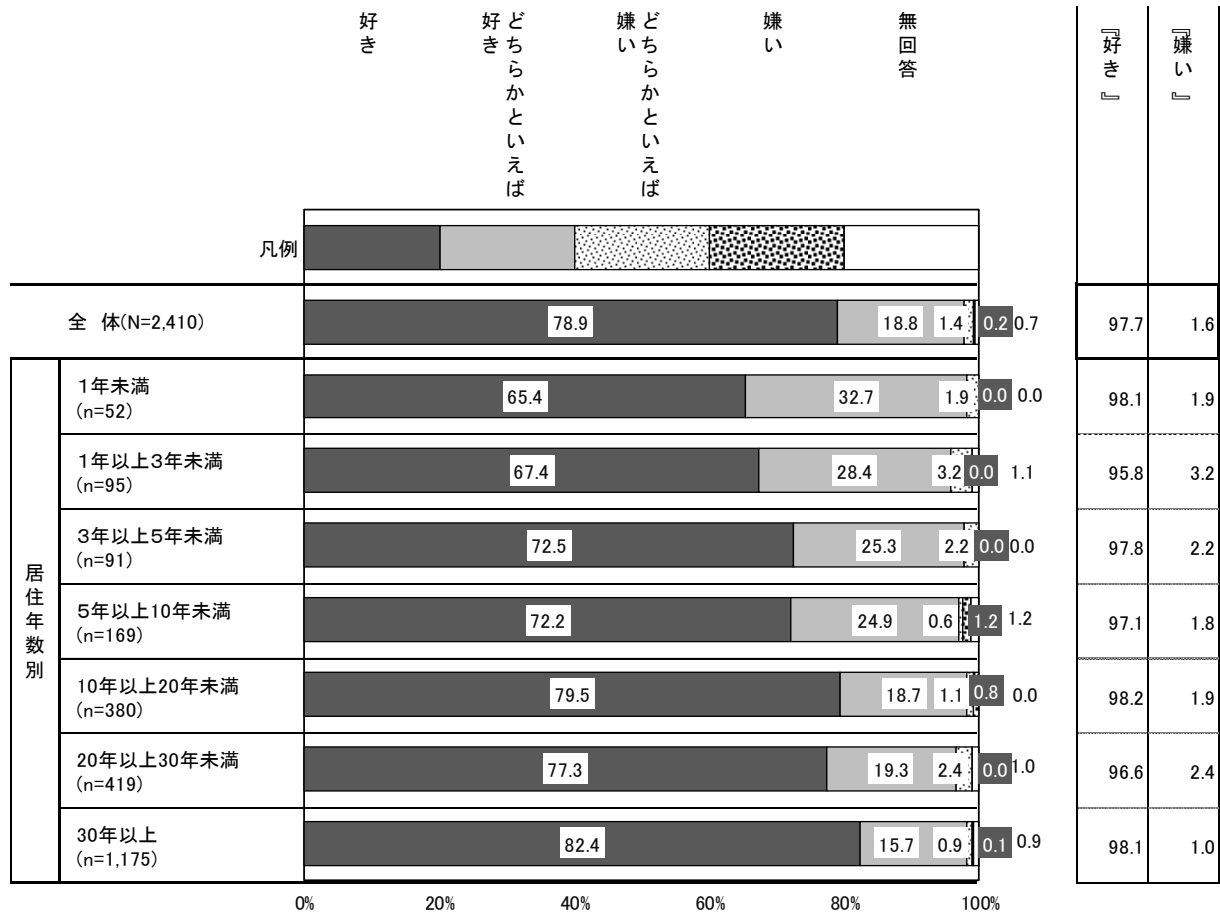
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性18～29歳、女性40代以上で「好き」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても、『好き』の割合が9割を超えている。居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなる傾向があり、30年以上では「好き」の割合が82.4%となっている。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



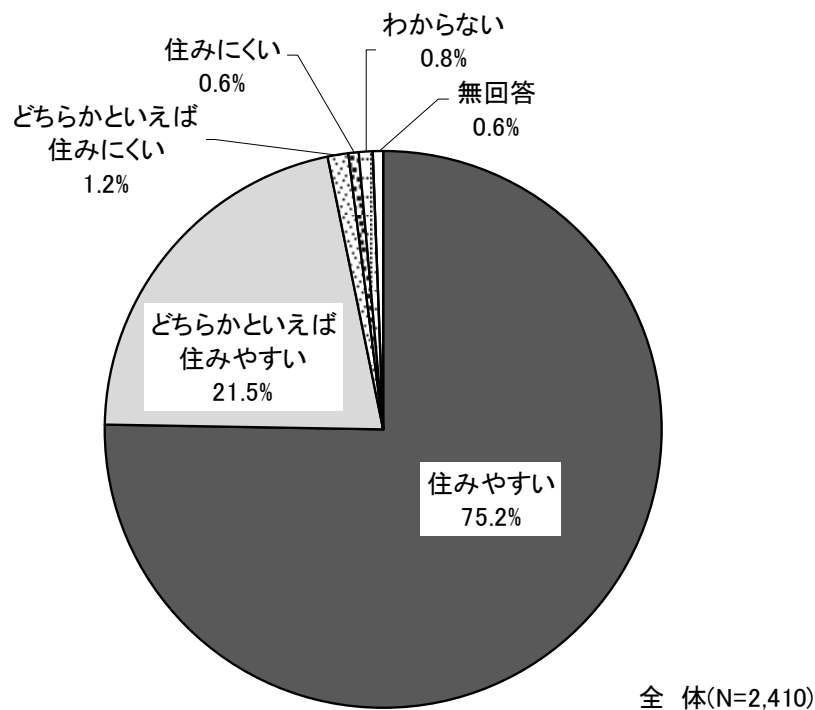
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が 75.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(21.5%)となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は 96.7%で9割後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は 1.8%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】

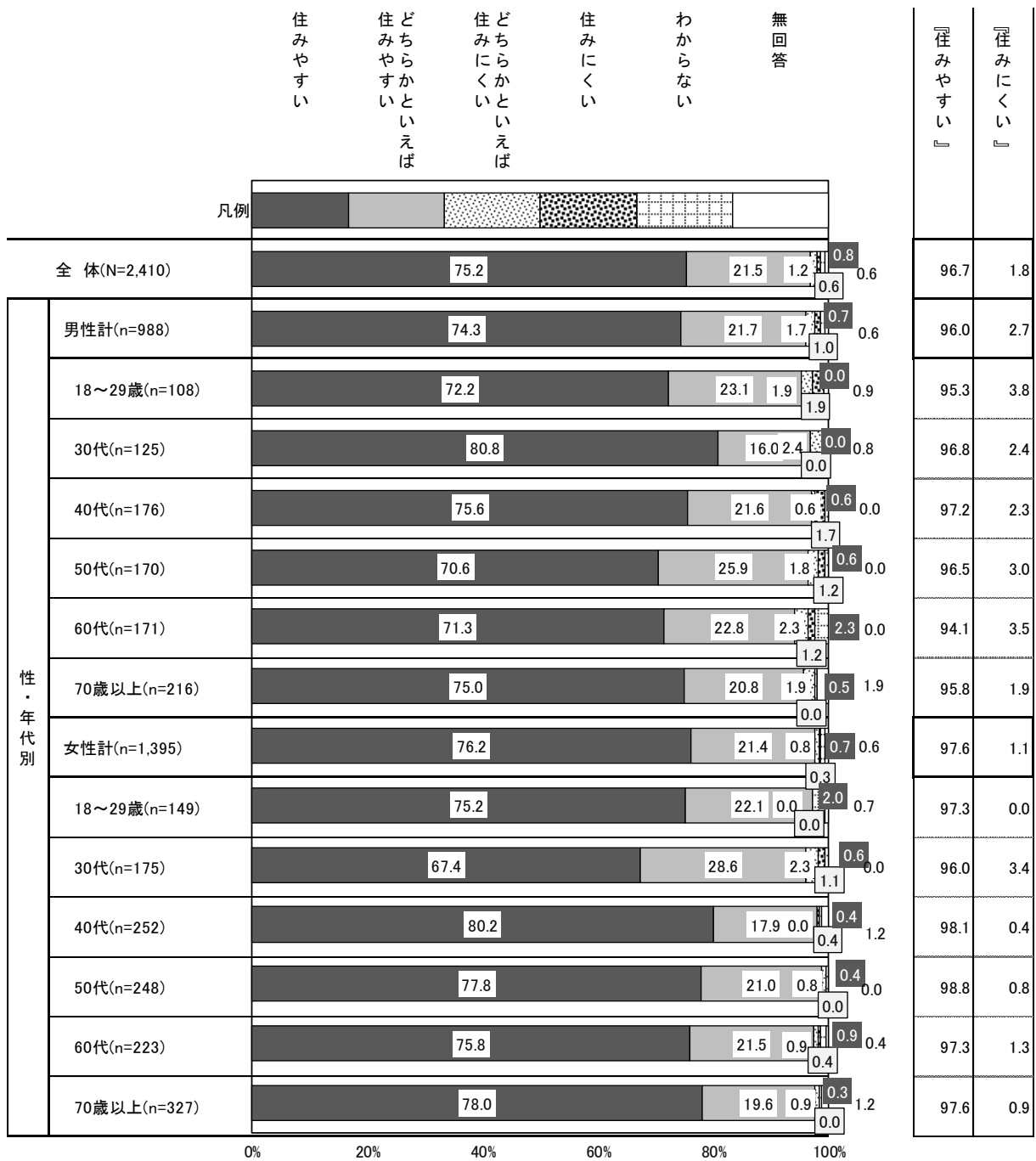


『住みやすい』	96.7%
『住みにくい』	1.8%

性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えている。

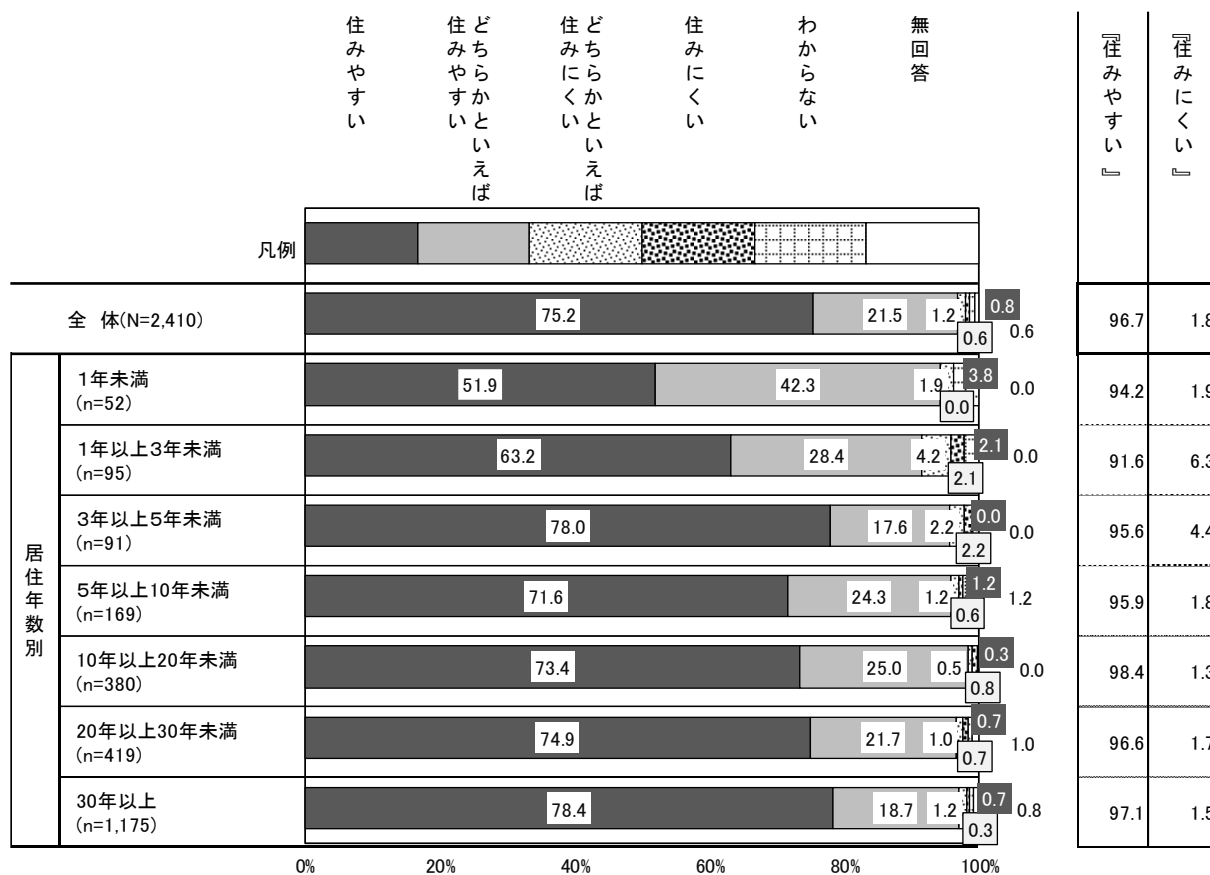
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性30代、女性40代で「住みやすい」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても、『住みやすい』の割合が9割を超えている。概ね、居住年数が長いほど「住みやすい」の割合が高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



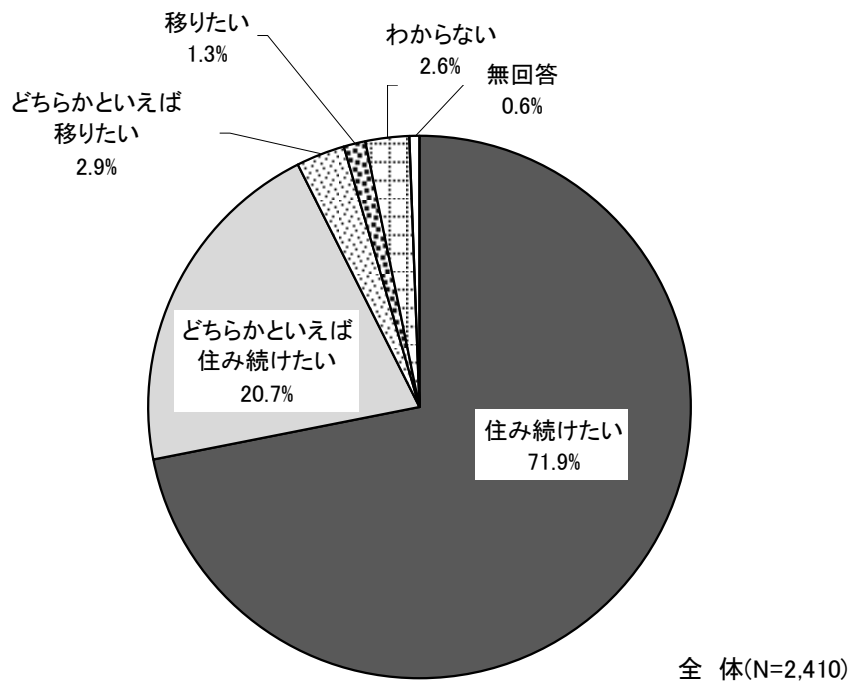
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が71.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(20.7%)となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は92.6%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は4.2%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

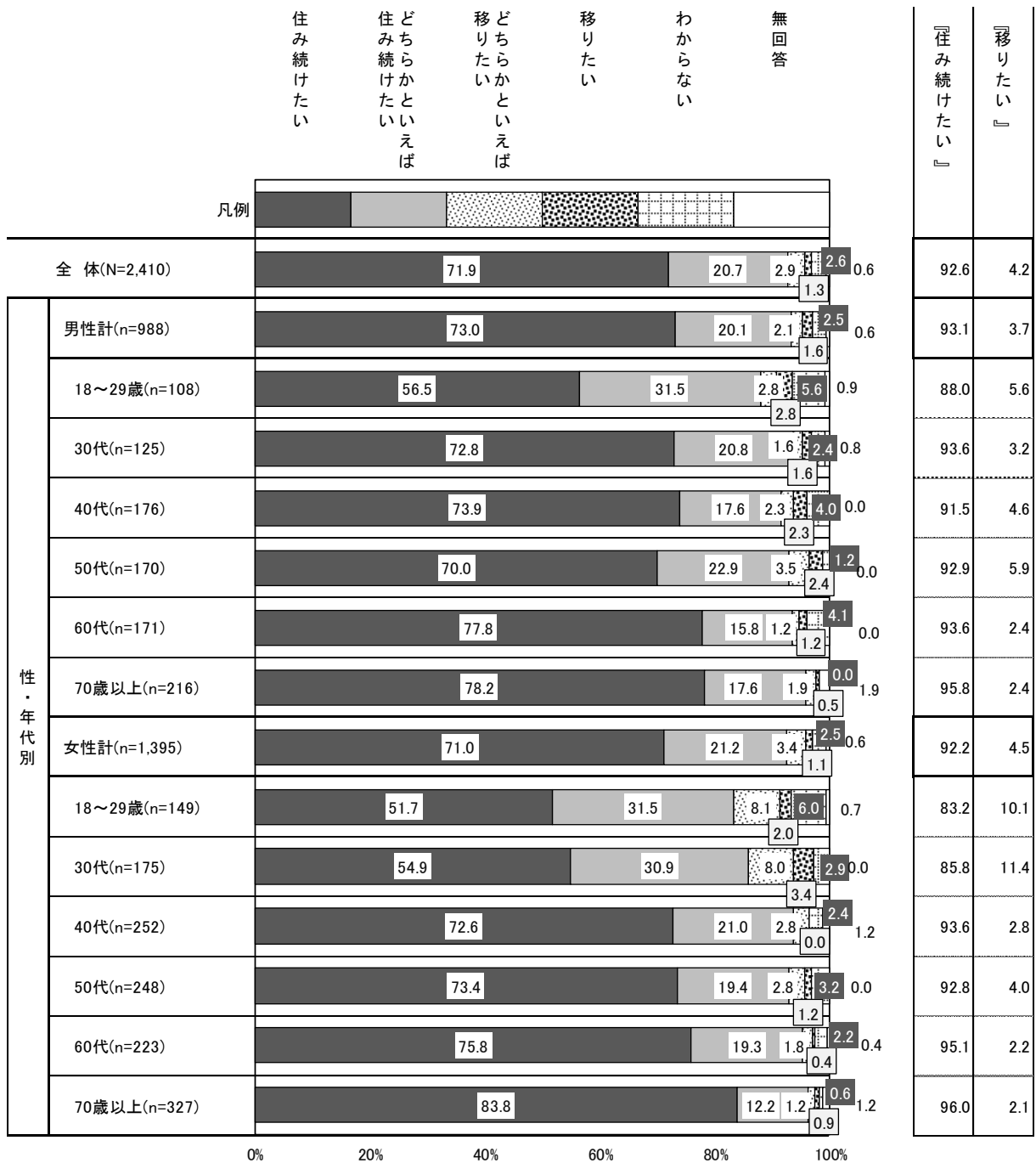


『住み続けたい』	92.6%
『移りたい』	4.2%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

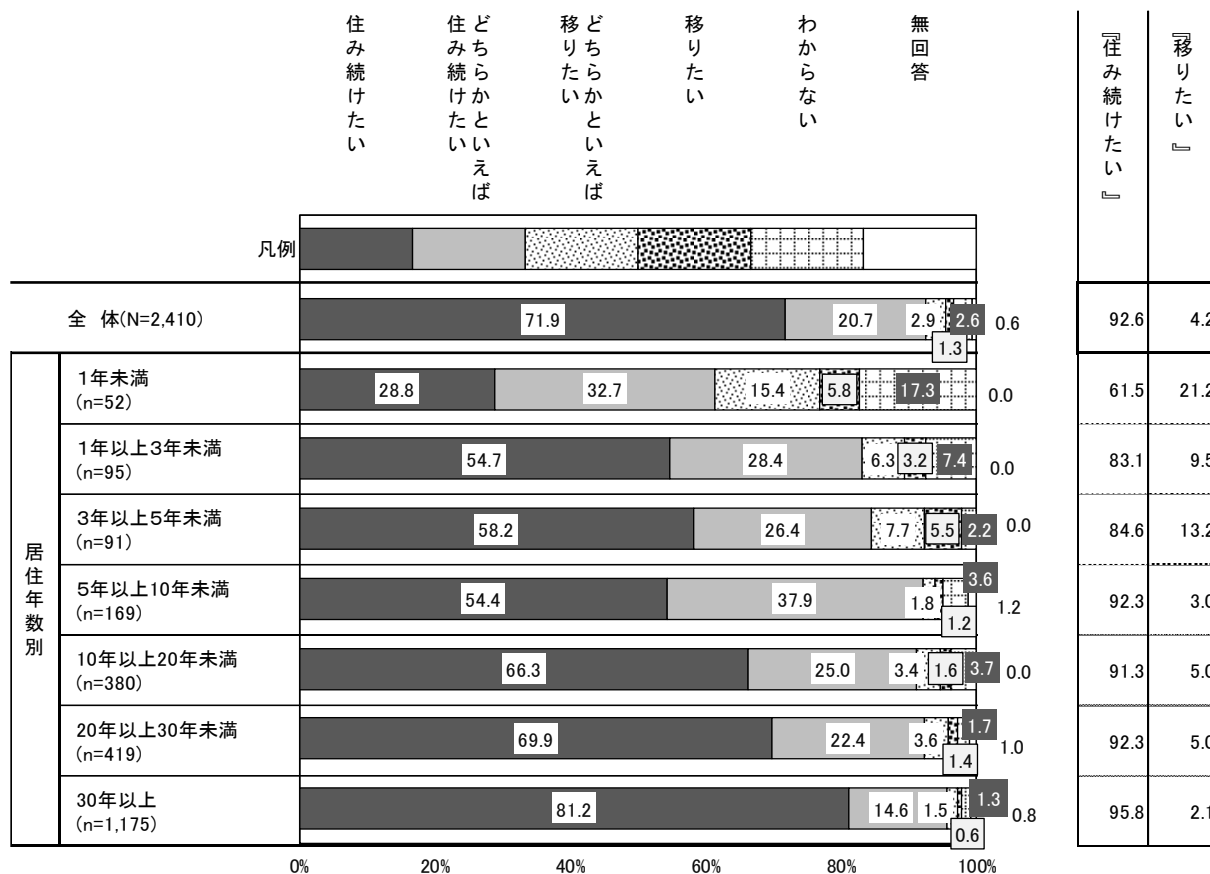
性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳・30 代で『住み続けたい』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。また、女性では年代が高くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、「住み続けたい」の割合は、概ね、居住年数が長くなるほど高くなっており、30年以上では81.2%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



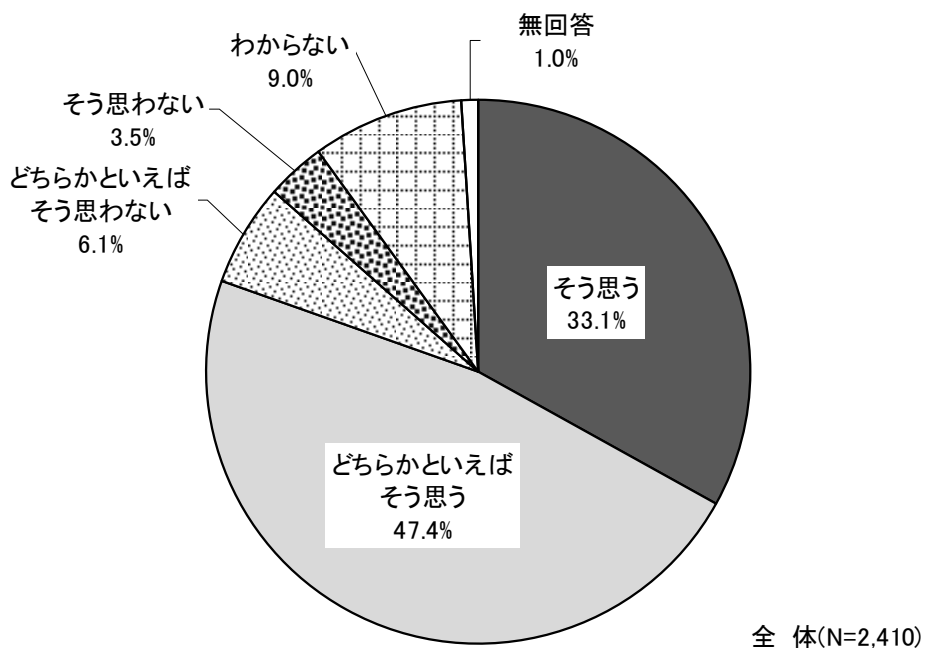
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえ
ばそう思う」が47.4%と最も多く、次いで「そう思う」(33.1%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえはそう思う」)の割合は80.5%となっ
ている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえはそう思わない」)の割
合は9.6%となっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】

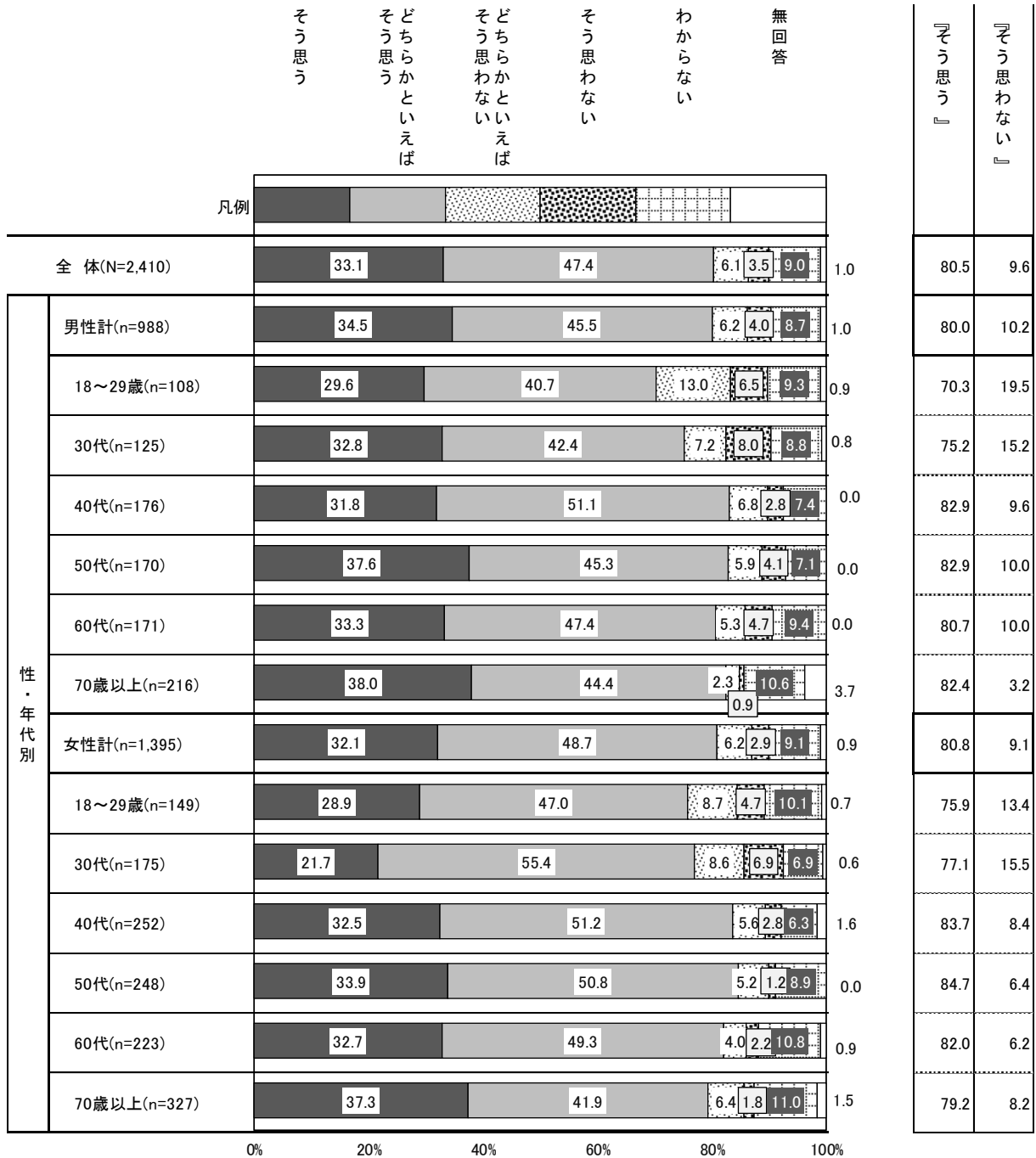


『そう思う』	80.5%
『そう思わない』	9.6%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 40 代以上、女性 40～60 代では、『そう思う』の割合が 8 割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境等に関する満足度

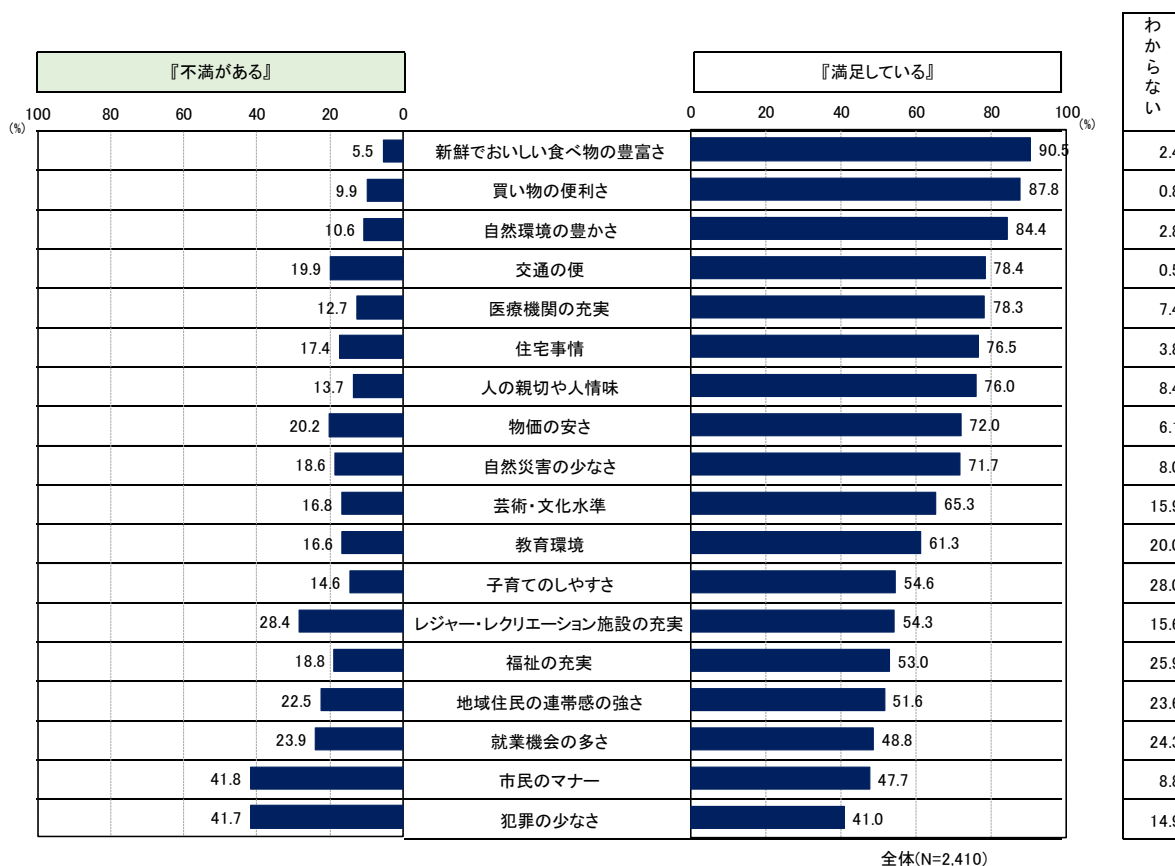
問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市の都市環境等で、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」)は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が90.5%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(87.8%)、「自然環境の豊かさ」(84.4%)となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」)は「市民のマナー」が41.8%と最も多く、次いで「犯罪の少なさ」(41.7%)、「レジャー・レクリエーション施設の充実」(28.4%)となっている。

また、「わからない」は「子育てのしやすさ」が28.0%と最も多く、次いで「福祉の充実」(25.9%)、「就業機会の多さ」(24.3%)となっている。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度【全体】



福岡市の都市環境等で『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：91.3%，女性：90.2%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男女30代以上では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、男女18～29歳では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。また、男性60代以上、女性70歳以上では「福祉の充実」の割合が6割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『満足している』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,410	84.4 (3位)	76.5	78.4 (4位)	87.8 (2位)	72.0	90.5 (1位)	65.3	61.3	54.6
男性計	988	83.1 (3位)	76.5 (5位)	76.3	88.3 (2位)	72.4	91.3 (1位)	65.0	62.1	55.2
18～29歳	108	70.3	70.3	76.8 (3位)	89.8 (1位)	75.9 (4位)	88.9 (2位)	57.4	56.5	37.0
30代	125	88.0 (3位)	77.6	80.8	96.0 (1位)	80.8	96.0 (1位)	64.8	55.2	53.6
40代	176	82.9 (3位)	75.6 (5位)	78.4 (4位)	90.3 (2位)	69.8	94.3 (1位)	67.1	60.8	55.7
50代	170	84.7 (3位)	74.1	68.2	88.2 (2位)	70.0	93.6 (1位)	67.7	61.8	54.1
60代	171	84.2 (3位)	74.2	71.3	87.1 (2位)	70.7	87.7 (1位)	62.0	64.4	62.0
70歳以上	216	85.2 (2位)	81.9 (4位)	81.9 (4位)	83.3 (3位)	70.9	89.3 (1位)	67.6	68.5	61.6
女性計	1,395	85.7 (3位)	76.8	80.1 (4位)	87.5 (2位)	72.1	90.2 (1位)	65.9	61.0	54.4
18～29歳	149	80.6 (4位)	77.2	85.9 (2位)	90.6 (1位)	68.4	85.2 (3位)	65.1	55.0	29.5
30代	175	82.3 (3位)	73.2	74.3 (5位)	90.2 (2位)	68.6	90.8 (1位)	64.6	61.7	48.6
40代	252	85.7 (3位)	77.0	79.7 (5位)	89.3 (2位)	74.6	91.7 (1位)	65.5	60.7	58.0
50代	248	85.9 (3位)	77.0	77.0	88.3 (2位)	75.8	93.2 (1位)	63.3	53.2	56.9
60代	223	91.9 (2位)	77.1	82.0 (4位)	88.8 (3位)	72.2	92.3 (1位)	69.9	70.0	65.1
70歳以上	327	85.9 (2位)	78.6	81.3	81.6 (4位)	71.6	88.1 (1位)	65.8	63.3	56.8

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域の住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	エレベーター・シャーン・施設の充実	
48.8	78.3 (5位)	53.0	76.0	51.6	71.7	41.0	47.7	54.3	全体
50.1	77.7 (4位)	56.1	74.8	49.4	71.7	41.7	45.1	55.0	男性計
49.0	75.0 (5位)	50.0	67.6	39.8	63.9	26.9	39.8	54.6	18～29歳
59.2	86.4 (4位)	53.6	81.6 (5位)	48.0	69.6	36.0	49.6	64.8	30代
51.7	71.6	47.7	73.8	52.8	66.5	34.7	41.4	52.3	40代
50.0	75.3 (4位)	55.2	75.3 (4位)	50.0	63.0	38.2	34.1	57.0	50代
48.5	76.6	60.2	76.7 (5位)	50.3	81.3 (4位)	46.8	45.6	47.9	60代
45.9	81.0	64.8	74.1	50.9	81.9 (4位)	56.0	56.0	54.6	70歳以上
48.0	79.0 (5位)	50.8	77.1	53.2	72.2	40.4	49.6	53.9	女性計
52.3	79.9 (5位)	47.6	71.1	41.7	59.0	28.2	44.3	50.3	18～29歳
52.6	79.5 (4位)	40.0	72.6	42.9	66.3	22.3	43.4	53.7	30代
50.4	79.0	46.5	80.1 (4位)	53.9	71.8	36.5	50.0	56.3	40代
46.4	77.1 (5位)	45.2	77.9 (4位)	56.1	65.8	37.5	46.8	51.2	50代
51.1	75.4	54.7	79.4	54.2	80.8 (5位)	50.2	51.1	57.0	60代
41.3	82.0 (3位)	63.3	78.0	59.9	81.4 (5位)	55.0	56.3	54.1	70歳以上

福岡市の都市環境等で『満足している』点について、行政区別にみると、博多区以外では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」の満足度が最も高くなっている。また、博多区では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『満足している』点【行政区別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,410	84.4	76.5	78.4	87.8	72.0	90.5	65.3	61.3	54.6
東区	465	86.1	78.5	77.0	86.7	70.6	87.6	66.7	59.8	56.3
博多区	338	74.3	71.0	82.3	88.4	68.4	86.4	66.9	57.9	49.7
中央区	291	84.2	73.9	83.5	91.1	69.7	91.4	62.6	55.4	42.9
南区	439	86.4	76.8	75.4	85.9	72.7	91.8	66.5	63.1	58.3
城南区	188	81.4	73.9	75.5	91.0	75.5	92.5	62.2	68.1	55.9
早良区	330	87.2	77.0	79.1	86.9	73.7	93.1	66.1	63.4	58.5
西区	327	91.4	83.5	77.3	89.0	77.4	94.2	65.2	65.4	59.6

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
48.8	78.3	53.0	76.0	51.6	71.7	41.0	47.7	54.3	全体
51.4	76.3	53.8	73.2	52.1	76.1	40.5	46.2	55.9	東区
47.3	75.5	49.7	74.5	49.1	71.3	38.8	45.8	52.1	博多区
48.4	81.1	46.7	78.4	47.0	69.1	38.1	43.7	51.2	中央区
50.6	82.0	55.1	77.7	53.6	73.3	41.2	48.8	53.3	南区
43.6	82.4	51.1	78.1	55.3	70.2	49.4	50.0	55.3	城南区
52.1	76.9	56.3	78.5	54.5	71.5	41.5	50.9	57.0	早良区
45.9	76.7	56.6	75.3	50.5	68.5	40.9	50.1	55.7	西区

福岡市の都市環境等で『不満がある』点について、性別にみると、男性は「市民のマナー」(46.3%)、女性は「犯罪の少なさ」(40.2%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性40代以上、女性60代以上では「市民のマナー」、男性18～29歳・30代、女性50代以下では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『不満がある』点【性・年代別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,410	10.6	17.4	19.9	9.9	20.2	5.5	16.8	16.6	14.6
男性計	988	12.5	18.3	22.4	9.7	21.0	4.8	17.1	19.5	16.8
18～29歳	108	22.3	23.2	21.3	7.4	19.5	7.5	16.6	23.2	14.8
30代	125	9.6	17.6	18.4	3.2	14.4	2.4	16.8	24.0 (4位)	18.4
40代	176	12.5	19.8	20.4	8.5	22.7	2.9	14.2	22.1	17.6
50代	170	12.9	21.8	31.8	11.2	28.8	3.5	19.4	22.4	20.0
60代	171	11.7	19.9	27.5 (5位)	10.5	20.5	5.9	18.8	13.5	14.0
70歳以上	216	9.3	11.6	15.3	13.4	18.5	5.6	17.2	15.3	15.3
女性計	1,395	9.0	16.6	17.8	10.1	19.5 (5位)	5.9	16.5	14.7	13.0
18～29歳	149	13.4	16.1	12.8	7.4	22.8 (5位)	11.5	14.1	15.5	8.1
30代	175	14.3	22.9	25.2 (5位)	8.6	26.9 (4位)	7.4	13.8	14.8	18.8
40代	252	9.1	16.3	18.2 (5位)	8.7	17.9	4.8	16.6	17.5	13.5
50代	248	10.1	16.9	21.8	9.3	18.5	4.4	26.3 (5位)	21.7	16.5
60代	223	5.4	18.4	17.0	10.8	19.2	4.9	18.4	11.6	13.4
70歳以上	327	5.8	12.0	14.0	13.4	15.9 (5位)	4.9	10.7	8.8	8.5

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充実にレジャー・施設	レジャー・施設	
23.9 (4位)	12.7	18.8	13.7	22.5 (5位)	18.6	41.7 (2位)	41.8 (1位)	28.4 (3位)		全体
26.5 (5位)	13.8	20.1	15.4	26.9 (4位)	20.9	44.3 (2位)	46.3 (1位)	31.0 (3位)		男性計
25.9 (5位)	8.4	11.1	23.2	24.1	27.8 (4位)	61.1 (1位)	49.1 (2位)	34.2 (3位)		18～29歳
17.6	9.6	11.2	11.2	18.4	23.2 (5位)	50.4 (1位)	47.2 (2位)	27.2 (3位)		30代
29.0 (4位)	15.4	20.5	14.8	24.4	28.5 (5位)	50.0 (2位)	51.2 (1位)	32.4 (3位)		40代
33.6 (4位)	18.2	30.0	18.8	33.0 (5位)	27.6	52.9 (2位)	61.8 (1位)	34.2 (3位)		50代
26.3	14.7	19.8	13.4	29.2 (4位)	11.7	38.6 (2位)	41.5 (1位)	36.2 (3位)		60代
25.0 (4位)	13.9	21.8	12.0	28.2 (2位)	10.2	26.4 (3位)	32.4 (1位)	24.5 (5位)		70歳以上
22.2 (4位)	11.7	17.9	12.5	19.2	16.9	40.2 (1位)	38.8 (2位)	26.8 (3位)		女性計
18.2	6.7	8.0	17.5	18.2	28.2 (4位)	56.4 (1位)	46.3 (2位)	30.2 (3位)		18～29歳
25.2	13.8	14.3	18.3	22.3	21.1	62.3 (1位)	48.0 (2位)	31.4 (3位)		30代
22.3 (4位)	10.7	17.5	10.3	16.7	16.7	44.1 (1位)	38.5 (2位)	29.8 (3位)		40代
28.7 (4位)	14.1	25.4	14.1	20.5	22.2	43.1 (1位)	42.7 (2位)	30.2 (3位)		50代
24.7 (4位)	15.2	23.3 (5位)	10.3	22.4	11.6	34.1 (2位)	38.1 (1位)	26.4 (3位)		60代
15.6	9.7	15.6	9.2	16.8 (4位)	8.6	19.9 (2位)	28.1 (1位)	17.2 (3位)		70歳以上

福岡市の都市環境等で『不満がある』点について、行政区別にみると、中央区,南区,城南区では「市民のマナー」,東区,博多区,早良区,西区では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『不満がある』点【行政区別】

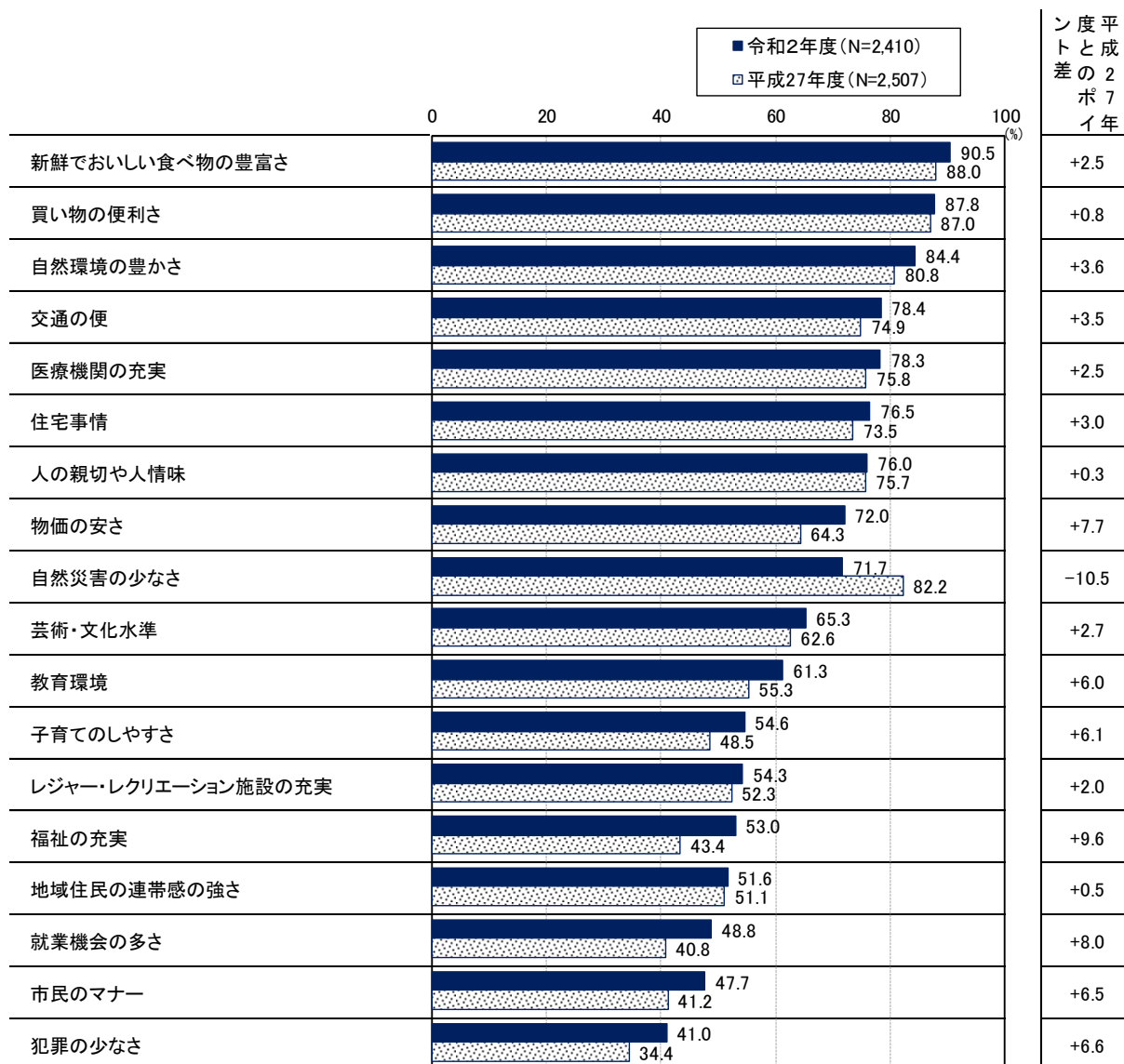
単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物 の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,410	10.6	17.4	19.9	9.9	20.2	5.5	16.8	16.6	14.6
東区	465	11.0	16.4	21.7	11.4	22.4	7.7	16.3	19.5	18.3
博多区	338	18.4	20.4	14.3	8.3	20.8	8.0	13.9	17.8	13.9
中央区	291	9.0	21.0	14.8	6.5	19.6	4.5	19.9	13.1	14.5
南区	439	8.8	14.4	23.4	12.6	20.3	5.3	15.7	15.0	11.4
城南区	188	13.3	18.6	20.8	5.8	19.2	4.2	17.0	15.9	14.9
早良区	330	7.9	19.7	20.3	11.5	20.3	4.5	19.1	18.8	17.9
西区	327	5.8	12.9	21.1	8.8	16.5	1.8	15.9	14.6	10.7

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
23.9	12.7	18.8	13.7	22.5	18.6	41.7	41.8	28.4	全体
25.4	14.6	20.2	17.2	24.9	17.6	46.2	43.5	27.5	東区
23.9	13.9	22.1	14.5	21.9	16.5	44.7	43.5	28.7	博多区
21.6	8.9	17.2	11.7	23.4	22.7	42.0	45.7	31.2	中央区
21.0	10.0	15.9	11.4	22.8	17.5	38.7	40.6	29.9	南区
30.3	9.1	22.4	13.8	19.1	19.7	38.3	40.9	27.7	城南区
21.9	14.5	17.8	11.5	20.6	18.7	39.7	38.8	27.9	早良区
26.6	15.0	16.8	14.1	21.7	18.4	41.0	40.1	26.3	西区

満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和2年度は平成27年度に比べて、「自然災害の少なさ」以外のすべての項目で満足度が高くなっている。平成27年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「福祉の充実」の9.6ポイント増加、次いで「就業機会の多さ」の8.0ポイント増加、「物価の安さ」7.7ポイント増加となっている。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和2年度は平成27年度に比べて、不満度が低くなった項目が16項目、高くなった項目が2項目となっている。平成27年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「自然災害の少なさ」が11.0ポイント増加、「福祉の充実」が9.2ポイント減少となっている。

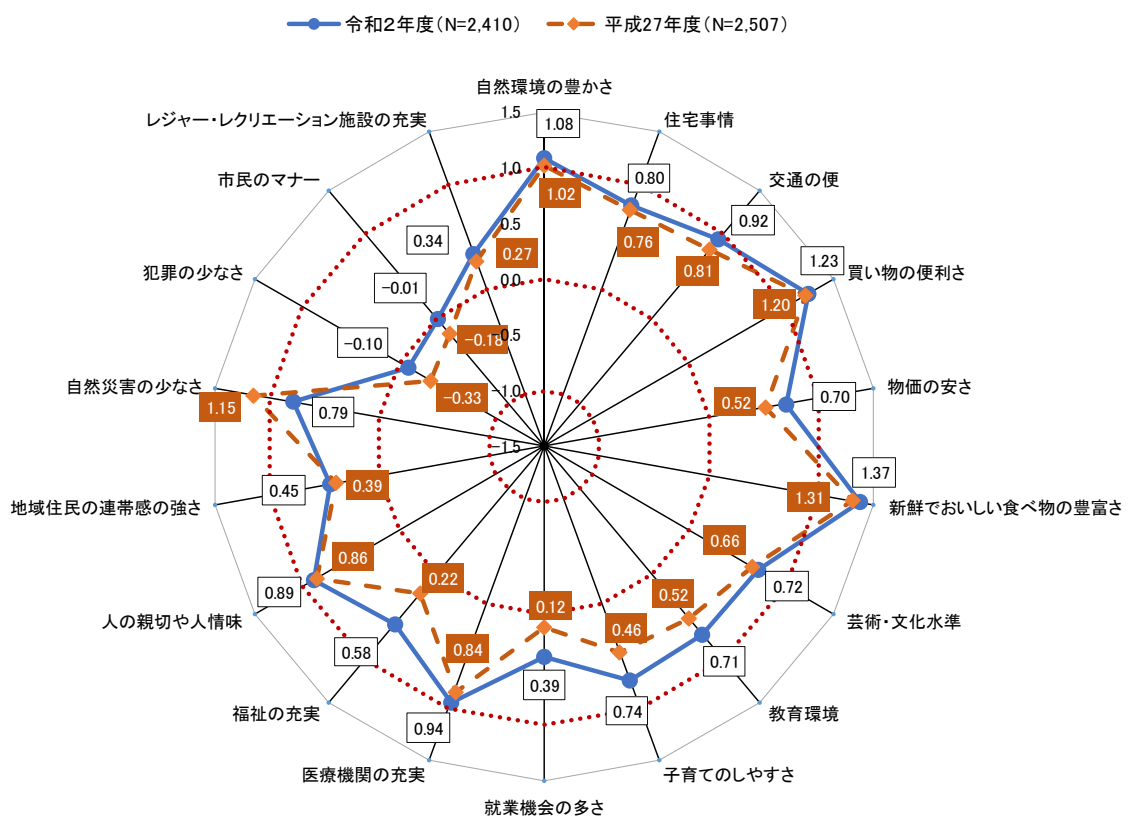
図表 福岡市の都市環境等に関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境等の満足度について、平均評定値*を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は平成27年度と令和2年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。一方、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」はどちらも平均評定値がマイナスとなっている。

また、令和2年度は平成27年度と比べ、18項目中17項目でポイントが上がっている。特に「福祉の充実」(+0.36)、「子育てのしやすさ」(+0.28)、「就業機会の多さ」(+0.27)、「犯罪の少なさ」(+0.23)の数値が大きく向上している。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について

イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」:+2点、「どちらかといえば満足」:+1点、「どちらかといえば不満」:-1点、「不満がある」:-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定(好意的)」、逆に-2点に近いほど「否定(非好意的)」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位：点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和2年度	2,410	1.08	0.80	0.92	1.23	0.70	1.37	0.72	0.71	0.74
平成27年度	2,507	1.02	0.76	0.81	1.20	0.52	1.31	0.66	0.52	0.46

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
0.39	0.94	0.58	0.89	0.45	0.79	-0.10	-0.01	0.34	令和2年度
0.12	0.84	0.22	0.86	0.39	1.15	-0.33	-0.18	0.27	平成27年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている。